

# 授業改善推進プラン

担当教科 ( 技術科 ) 学年 ( 1 学年 )

## 学力調査・アンケート等の課題分析

生徒アンケートで、約 80～90%の生徒が肯定的な回答であった。しかし、授業の様子やテスト結果を見ると、成績に反映されていないと思われる項目があった。

## 授業等の課題分析

毎週の授業において、集中力にける生徒が少なからずいる。50 分間の授業で集中力を持続させ積極性を出させるために、理解力を高めていくことが大切であると考え。生徒にとって分かりやすい授業のための工夫改善が必要である。



## 目指す授業

生徒が、授業内で「わかった」「できた」「もっとやってみたい」という授業。



## 授業改善のための具体的な方策

- ・参考資料に工夫し提示する。(電子黒板を最大限に活用をする。)
- ・生徒に短い時間の間に多くの技能・技術を身に付けさせるために、電子黒板の活用を図る。
- ・生徒をほめ励まししながら、意欲的に取り組む指導を図る。

# 授業改善推進プラン

担当教科（ 技術科 ） 学年（ 2 学年 ）

## 学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートでは、「わかった」「できた」と感じる機会があり、授業がわかりやすいかという質問では、約 27%の生徒が否定的な回答であった。

## 授業等の課題分析

授業中は、しっかり聞いてはいたが、実際には、学習内容を十分に理解していないと思われる。学習内容が身に付いたかどうかを授業ごとに確認していくことが課題である。



## 目指す授業

よりよい生活の実現に向けての日常生活に必要な基本的な知識や技能を身に付ける授業。



## 授業改善のための具体的な方策

- ・ワークシート・プリント類の改善を図る。
- ・分かった・できた・もっとやってみたいという意欲の向上を図る。
- ・学ぶ楽しさを高めていく。その為には、工程表を作成し、自己評価と質問を書くようにさせる。
- ・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
- ・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。

# 授業改善推進プラン

担当教科（ 技術科 ） 学年（ 3 学年 ）

## 学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートの中で、プリント・ワークシートが分かりにくい、授業が「わかった」「できた」と思える場面が少ないと回答した生徒が15%ほどいた。

## 授業等の課題分析

生徒は、授業をしっかり聞いていて、今何をすればよいかは認識できている。そこで、学ぶ楽しさを身に付け、意欲的に取り組めるように一人一人への働きかけを大事にしていく。



## 目指す授業

よりよい生活の実現に向けての日常生活に必要な基本的な知識や技能を身に付ける授業。



## 授業改善のための具体的な方策

- ・年間授業時数が少ないので、授業に工夫をする。特に、電子黒板を活用しより分かりやすい授業を実践していく。
- ・わかった・できた・もっとやってみたい感動体験を増やし、授業に積極的に参加をさせることができるよう指導法を工夫していく。
- ・前時の授業、本時の授業のめあてをはっきりさせて、授業の中の課題をしっかり持たせ、課題解決の糸口を見受けさせる。